

景気景況調査報告

(第19回)

令和2年 7～9月期 実績

令和2年 10～12月期 見通し

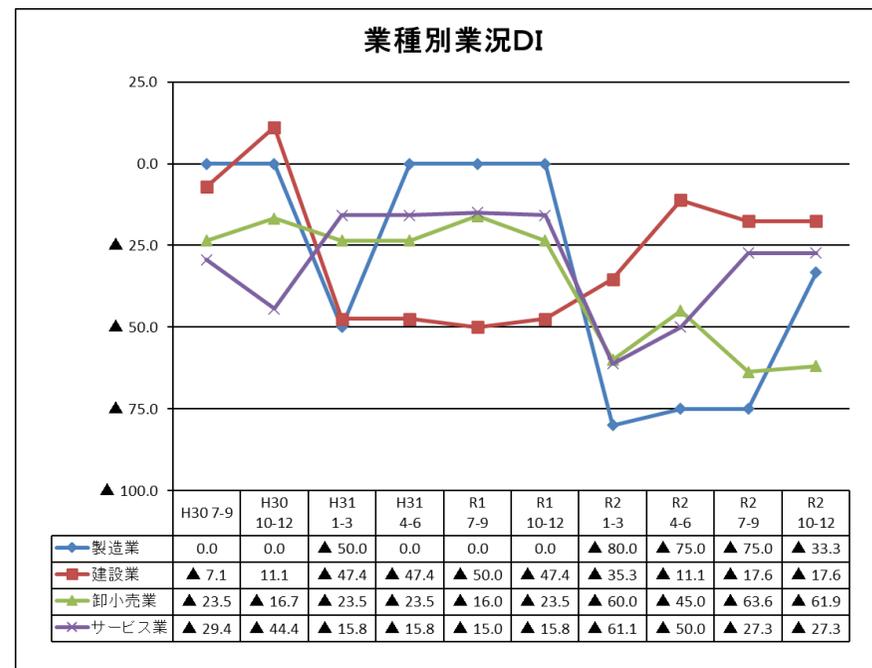
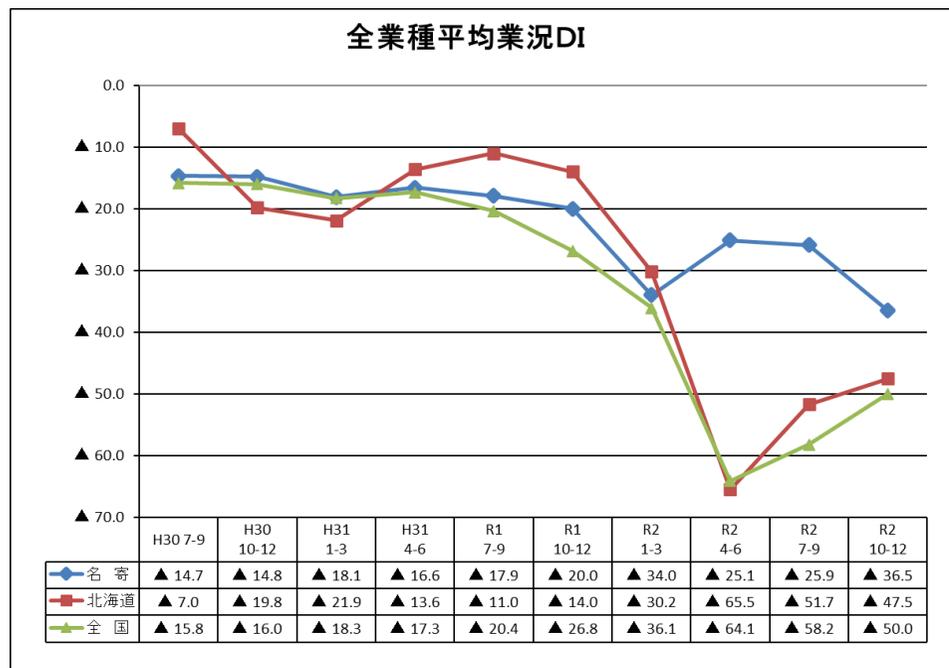
令和2年11月

名寄商工会議所

I 調査要領

- ①調査対象期間 令和2年7～9月期の実績及び令和2年10～12月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い） 127社

II 調査結果

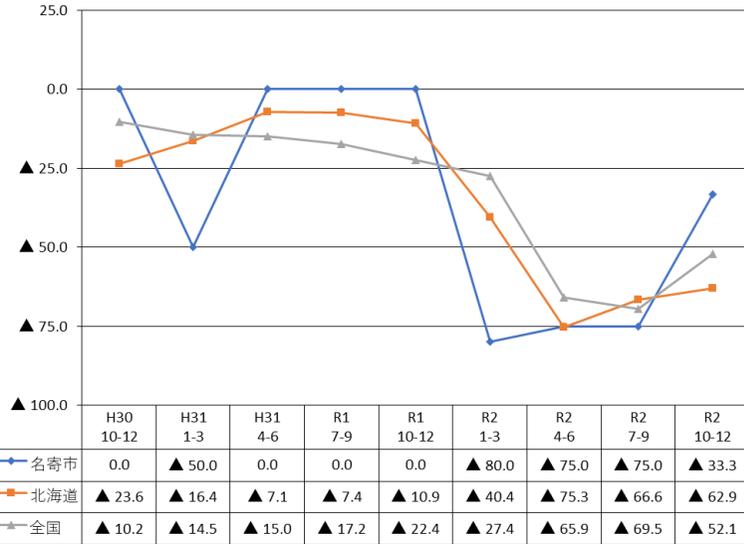


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

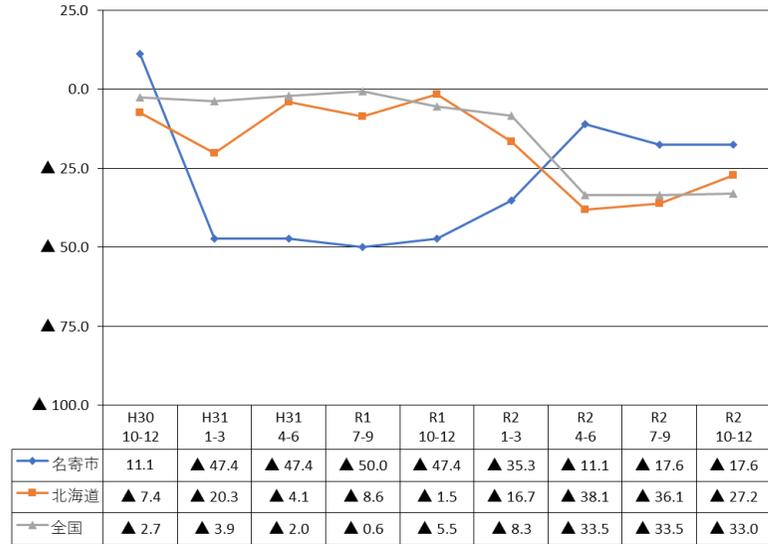
- ・今期、全業種平均で▲25.9ポイントと前回調査と比べ0.8ポイント悪化となっている。
- ・北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期25.8ポイント良いが、見通しでは14.8ポイントマイナス幅が拡大する見込みとなっている。
- ・全国（日商調査）の景気と比較しても、今期32.3ポイント良いが、見通しでは18.8ポイントマイナス幅が拡大する見込みとなっている。
- ・見通しでは10.6ポイント悪化しており、未だに新型コロナウイルスの影響による要因が大きく、人材不足・工事の減少・イベントや行事の中止原油価格変動との回答が多数あり。
- ・業種別の見通しでは、サービス業で前期より大きく好転となっているが、卸小売業は18.6ポイント悪化となっている。

業種別業況DI

製造業 業況DI



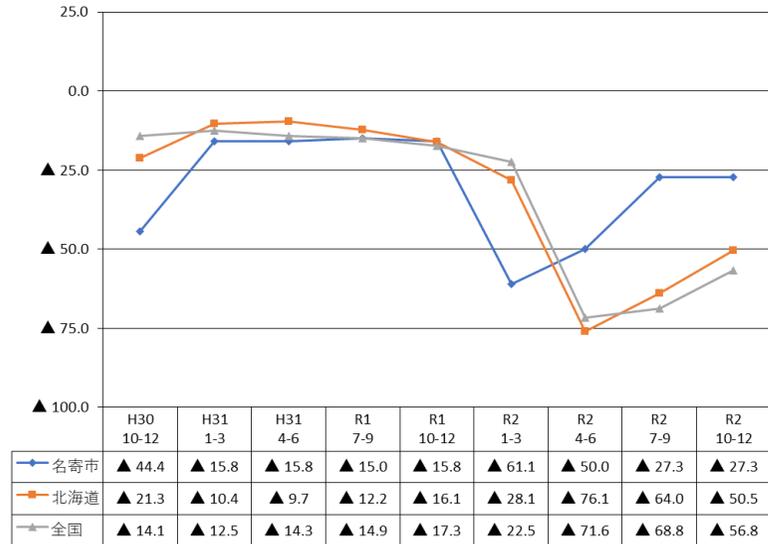
建設業 業況DI



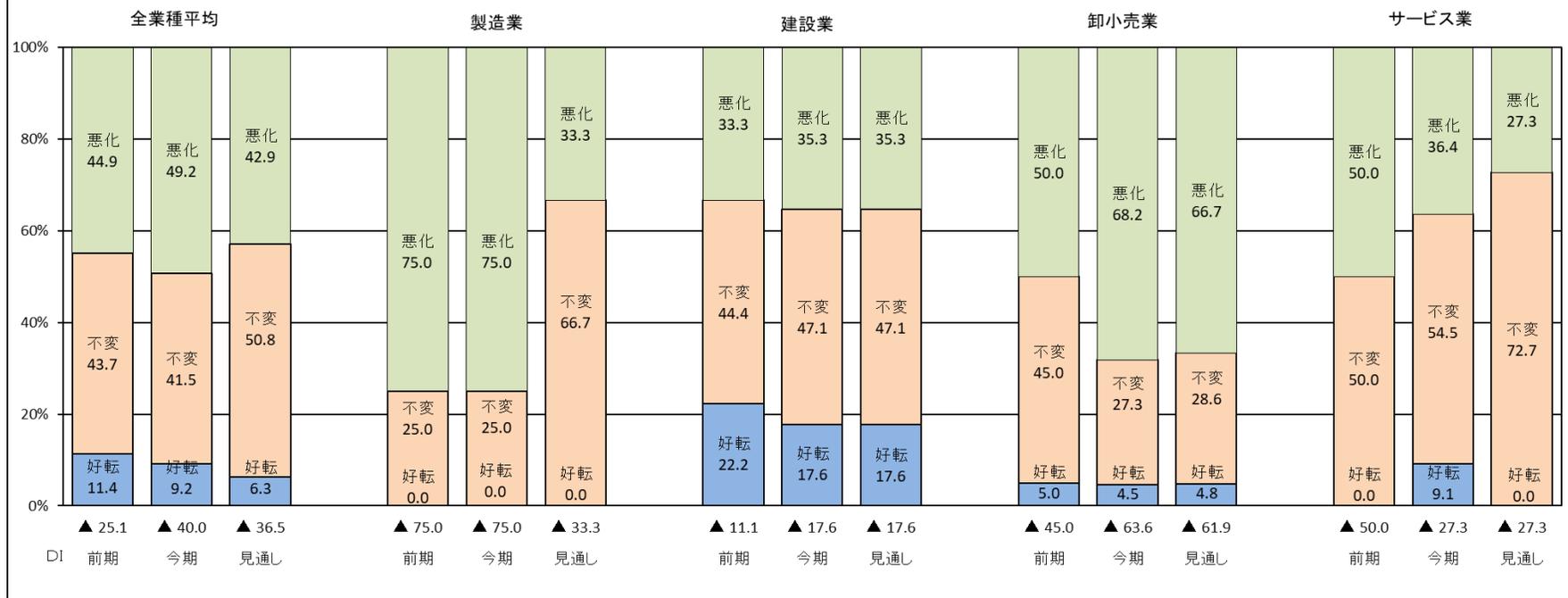
卸小売業 業況DI



サービス業 業況DI



業種別業況回答割合

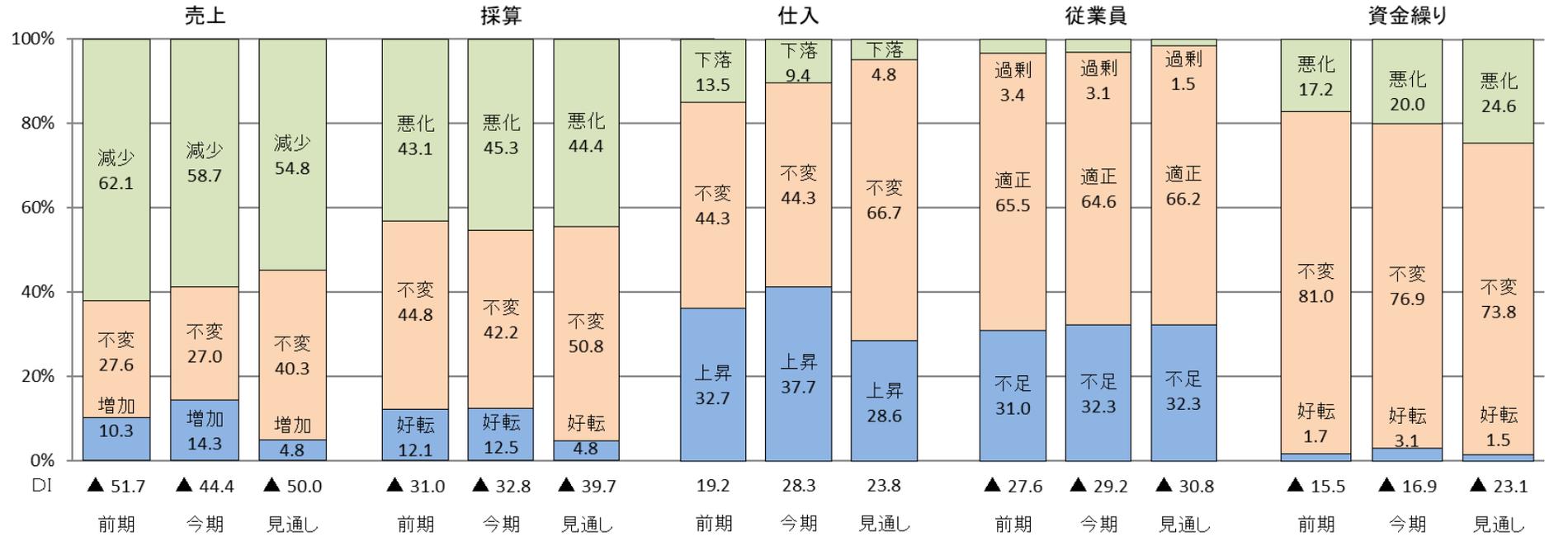


※D I : 「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 製造業～** 今期は前期と同じく、全て横ばいとなっている。
見通しでは「悪化」が41.7%減少しており、コロナにより物価が下がった影響と考えられる。
- 建設業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が2.0%増加しており、「好転」が4.6%減少している。
見通しでは今期と同じく横ばいとなっている。
- 卸小売業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が18.2%増加しており、「好転」は変わらず横ばい。
見通しでは「悪化」が多少減少したが、好転は見込めない状況となっており、厳しい状態が続いている。
- サービス業～** 今期は前期に比べ、「悪化」が13.6%減少しており、前期より「好転」の回答が9.1%増加している。
見通しでは「好転」の回答はなくなるが、「悪化」はさらに9.1%減少となっている。これにはコロナ製品の販売が伸びている事が原因と考える。

全業種平均では、今期は前期より「悪化」が4.3%増加、「好転」が2.6%減少しているが、見通しでは「悪化」6.3%減少となっており、「好転」回答が2.9%減少しているため、横ばいの見通しとなっている。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

今期▲44.4ポイントと前期より7.3ポイント増加となっている。見通しでは5.6ポイント減少となっている。

[減少の要因]

・新型コロナウイルスの影響 ・イベントや行事の中止 ・宅配物の遅延

[増加の要因]

・名寄市補助金支援 ・補助金による工事の増加 ・新規顧客契約

採算 DI

今期▲32.8ポイントと前期より1.8ポイント減少となっている。見通しでは6.9ポイント減少となっている。

[増加の要因]

・名寄市補助金支援 ・受注増 ・売上高増加

仕入 DI

今期28.3ポイントと前期より9.1ポイント増加。見通しでは4.5ポイント減少となっている。

[上昇の要因]

・運賃値上げ ・消費税増税 ・価格改定 ・人件費 ・原油価格変動

従業員 DI

今期▲29.2ポイントと前期よりも1.6ポイント減少となっている。見通しではさらに1.6ポイント減少となっている。

[不足の要因]

・人材不足 ・社員の転職 ・業務拡大による ・求人難

資金繰り DI

今期▲16.9ポイントと前期から1.4ポイント減少となっているが、見通しではさらに6.2ポイント減少となっているため、より厳しい状況が続いている。